

# 今月の人

人材バンクより南国市の生涯学習に深く寄与して下さる方を紹介していきます。  
今回は、乾常美さんです。



乾 常美さん（左右山）  
人文・社会科学

大正3年9月21日左右山に生まれる。国府尋常小学校、県立農業学校を卒業したあと、昭和7年、県の職員となります。45年職務を退くまで、県政発展のために尽力されました。  
また、一方では県教育映画審査委員や高知市中央公民館映画演劇等審査委員、県立郷土文化会館運営委員などを歴任。優れた映画評論家として、映画文化の向上や、文化財関係の指導者として史跡の愛護と保存に努めてきました。  
現在、国府史跡保存会会長、国府地区健康づくり推進会長など幅広い分野で活躍しています。

## 短歌

幾百の蝶々むがに胡蝶ラン  
咲く温室に春降蝶よ  
北三高 小笠原綾子

農協の支所に早くも出されたり  
地夫より切れとう花びの瓜舌  
亀岩 島本 伸

我れに言う感謝の言葉さく度には  
乳得くなりぬ古いほほしり  
田村 北村三代子

朝露柏犬の背に落椿  
影とびめて暮しびじなり  
立田 北村賢寿恵

恙がなく今日一日を終りにし  
丸谷の茶器で玉露味はふ  
立田 北村幸江

老婆と共に六甲山頂に  
神戸の夜影唯見とれおり  
大堀 島 光則

ふるさとに伯父らの句碑をたうなれば  
水仙の香にうもるがにして  
植野 中上日出子

## 川柳

受験子や家族にはまだ遠い春  
十市 沢村鶴一

新聞の見出しの米はアメリカか？  
大根引き大根で道おしへ  
浜改田 清淵 係

家庭に春まわらわびて路のま  
田村 中沢 節

ぼけや椿つばみふくらむ寒の明け  
緑ヶ丘 細美じゆき

掛屏の上がり子屏の乱れけり  
稲生 中沢道子

磨かれし木道具あまた寒造  
前浜 高木喜美

寒暄や目貼りきびしき燗室  
西山 若良寿子

角砂糖一つに減しぬ遠雪嶺  
福船 大島新早

店頭に研ぎ風が座り町二月  
金地 西本かよこ

病院の匂いをまとい連官橋  
里改田 山岡みよ

## 俳句

### 市の統計

面積	125.11kaf
人口	41,900人(+23)
男	22,976人(+23)
女	24,924人(-1)
世帯数	17,695世帯(-4)
( )内は前月比	
《平成6年2月18日現在》	

### 火災・救急

《火災》		《救急》	
発生件数	2件	出動回数	104回
建物	2件	急病	56回
山林	0件	交通事故	21回
その他	0件	一般事故	13回
被害額	542万円	その他	14回
《平成6年2月分》			

## まほろば

早生稲の苗が、すくすくと育っている。緑黄色の葉の先端には真珠を思わせる美しい水滴が朝の光に輝いている。  
平成三年産米は、長雨、甘風来襲、田植え後の低温、冷夏、日照不足などの影響により、かつてない凶作となった。各地の気象観測所の記録では第一位の冷夏を記録した観測所が全国で三十九か所、長雨の記録でも二十九か所が記録を更新したそうである。  
この百年に一度といわれる作況指数「七十四」の大凶作。そして減反政策の中で緊急輸入の第一便が横浜港に入港し、コメ自由化の大きな第一歩を踏み出した。このことと国民生活にとって最も重要な米を中心とした食料の安定的な供給、国土、自然環境の保全など忘れていた農業の重要な役割を改めて教えることになった。  
高知平野にも春の日差しとともに田植えの時期がやってきた。お茶碗いっぱいのお白なご飯をゆつくりと噛みしめながら収穫のこうべをたれた稲穂が波打つ黄金色の水田に想いをはせる。  
(一)

広報は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さんの家庭にお届けしています。